

12月城南だより

令和7年11月28日(金)
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

<学校と地域のつながりの強化について>

校長 濱野 建児

今年度の城南祭においても近隣の小学校・中学校・高等学校との作品交流を行うことができました。各校から素晴らしい展示作品を持参していただくなど、直接的な交流を交えながら、お互いの学習を身近に感じられる良い機会になりました。

また、現在進行中である東京都特別支援教育推進計画(第二期)第3次(令和7年度~令和9年度)実施計画には、「学校と地域のつながりの強化」の具体化に向け、本校は隣接する都立六郷工科高校と協働的な活動を進めています。その活動の一つとして、11月22日に実施された六郷ねぶた祭に本校の児童・生徒が参加しました。当日に向けて、都立六郷工科高校に本校のキャラクターである城南ウサギのねぶた制作の御協力をいただき、両校の生徒が協力して素晴らしいねぶたを完成させました。ねぶたの制作過程において、両校の理解を深められるととても有意義な時間を共有できました。当日は、天候にも恵まれ地域の商店街などをライトアップされた多くのねぶたと迫力ある大太鼓や掛け声に合わせて楽しく城南ねぶたも一緒に練り歩きました。ねぶた祭を通して、都立高校や地域関係者の皆様からの御協力を得ることで、安全に楽しく六郷ねぶた祭に参加できたことに感謝いたします。



令和7年度 城南祭

各学部主任

【小学部】

1年生は、初めての城南祭で「名探偵 Jo ナン (ジョナン)」を発表しました。全員が探偵役になり、協力してヒントを探し犯人を見付け出しました。お決まりの睡眠薬やボイスチェンジャーの演出にも盛り上がりました。最高学年6年生は、体育館にて「城南アイドルオーディション」を開催しました。一人一人の特技の披露がある度、名前のコールや旗とうちわでの応援で、会場が一体となり、まるで本物のオーディション会場のような熱気に包まれました。2年生から5年生も個性を生かして発表し、終了後はやり切った達成感に満ちた表情でした。

【中学部】

1年生は「城南マルシェ」でランチョンマットやきんちゃく袋、コースターを作成し、自作の城南コインで販売しました。自分たちでデザインしたお礼のカードも添えました。

2年生は「プロフェッショナルSDGsの流儀」で今私たちにできることを考え、古着とコーヒーカーズを利用した消臭剤の作成過程とともに発表しました。

3年生は「おもいで樹」の劇発表を行いました。枯れそうな思い出の樹に活力を与えるため、それぞれの得意なことを活かして6人分の思い出を集め、元気な樹にしました。

【高等部】

1年生は「テキスタイルパーク」みんなで作った、世界に一つだけの模様一枚の大きな布。移動教室に関連したクイズや染物体験やひもくじで、楽しいテーマパークを披露しました。

2年生は修学旅行で行った箱根。「炎の駅伝部」雑色から芦ノ湖まで。得意な事、頑張っている姿を見せたり、助け合ったりしながら、一本のたすきを、13人の想いとともにつなぎました。

3年生は「タイムレター」過去から未来へつながるポスト。修学旅行で出した1年後に届く手紙。小学時代や中学時代の過去を経て、今の自分が未来の自分に書いた手紙。城南生活最後の舞台。「笑顔で今を生きていく」ことが未来につながるというメッセージを伝えました。